

2023年11月14日

各 位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 常務執行役員兼 CFO 福島 隆章
(TEL. 03-5472-1125)

2023年12月期の通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月3日に公表した「2023年12月期の通期業績予想」を下記の通り修正しました。

これに加えて、下記の通り繰延税金資産の取り崩しを行うこととなりましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年12月期 通期業績の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,477	△331	△219	△370	△9.34
今回修正予想 (B)	5,603	△680	△549	△1,291	△32.53
増減額 (B-A)	△874	△349	△330	△921	—
増減率 (%)	△13.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	10,008	1,963	1,999	1,179	30.20

(2) 修正の理由

2023年12月期の業績予想については、後発医薬品の市場浸透は概ね想定通りであるものの、新型コロナウイルス感染症に加え、季節性インフルエンザの流行による悪性リンパ腫の症例当たり薬剤使用量の減少傾向及び治療の遅延が継続しベンダムスチン市場が縮小した影響を受け、売上高を前回予想比874百万円減少の5,603百万円に下方修正しました。なお、本年度中は新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの影響が継続すると想定しています。

営業損失は、プリンシドフォビルのグローバル開発のための研究開発投資を最優先に進める一方で、経費の見直しを行い販売費及び一般管理費の削減を図っておりますが、売上高減少の影響により、前回予想比349百万円悪化の680百万円に下方修正しました。経常損失は外貨建て資産の為替評価益はあったものの、前回予想比330百万円悪化の549百万円に下方修正しました。また、上記の要因に加え、「2. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載のとおり、繰延税金資産を取り崩した結果、親会社株主に帰属する当期純損失につきましても、前回発表予想を下回る見込みとなりましたので業績予想を修正します。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

現在の事業環境及び今後の業績動向等を勘案し、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当連結会計年度末において繰延税金資産を642百万円取り崩し、法人税等調整額を計上する見込みへ修正しました。

※業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上